

# 広島県緑化センター 見所マップ

広島市森林公園  
呉婆婆々山

福田方面  
広島市森林公園

西ゲートは車両の通り抜けができません  
車いすの方、足の不自由な方等は車で通れます。事務所にご連絡下さい

大岩展望台

三本木山

植物などの採取は禁止されています  
ご理解とご協力をよろしくお願いします



## 広島県緑化センター 県立広島緑化植物公園

ご注意  
緑化センターのゲートは  
午後4時30分で閉まります

第2駐車場

第1駐車場

緑化センターの見所一覧表

植物名	科名	属名	解説	備考
ハンカチノキ	ダヴィディア	ダヴィディア	中国西南部に分布する単型属(一科一属一種)の珍しい樹木。5月上旬頃に、白い2枚の苞が垂れ下がり、ハンカチのようにみえる。和名はその姿からつけられた。	
ヒトツバタゴ	モクセイ	ヒトツバタゴ	愛知、岐阜、長崎県の自生地は国の天然記念物に指定。昔この樹の名前が判明せずナンジャモンジャノキと呼ばれていたことは有名。花は雌雄別株で5月に白い花をつける。	別名:なんじゃもんじゃ
イロハモミジ	カエデ	カエデ	広島県の樹、花に指定されている。この種のごく近いものにオオモミジ(主として太平洋側)とヤマモミジ(日本海側中部以北)がある。秋の紅葉樹の代表樹である。	
オオモミジ	カエデ	カエデ	県内に自生するカエデの代表種。ヤマモミジは日本海側中部以北に自生する。イロハモミジより葉、樹ともに大型、秋には代表的な紅葉の美しさを見せてくれる。	緑化センターのシンボツツリー
ハナノキ	カエデ	カエデ	岐阜・長野・愛知の県境に自生し、天然記念物に指定。雌雄異株。春、花が咲き、後から新葉が出る。葉裏は粉白色で、若い木の葉は3裂。	
マルバノキ	マンサク	マルバノキ	秋紅葉と同時に開花し、紅葉の美しさでは右に出るものはない。果実は翌年の秋に熟し、黒い光沢のある種子を出す。廿日市の自生地は、県天然記念物に指定されている。	別名:ベニマンサク
ランシンボク	ウルシ	ランシンボク	中国原産。1915(大正4)年白沢博士が移入し、秋の紅葉が美しいことで有名。この樹は中国の孔子の墓には必ず植えられていることから「学問の木」と伝えられている。	別名:カイノキ
ツクパネ	ビャクダン	ツクパネ	他の植物の根や枝に寄生して生育。花は雌雄別株で5～6月に枝先に淡緑色の小さな花が咲く。果実は羽根つきの羽根にそっくり。和名は果実の形から付けられた。	
セイヨウヤマナラシ	ヤナギ	ヤマナラシ	南ヨーロッパ原産。成長が早いということで輸入されたが、造林用としてあまり有効に利用されなかった。各地に並木として植栽されている。	
センペルセコイヤ	スギ	セコイア	アメリカ西海岸地方に自生し、一属一種の単型属。明治中期に輸入され各地に植栽。アメリカでは樹高が110mになるものがあり、寿命も長い。(世界最高樹高)。	
ヤブツバキ	ツバキ	ツバキ	冬～5月ごろまで花が咲き、中に多くの蜜を分泌し、小鳥が好んで吸っている。種子からは油を分離し多方面に利用。子房は無毛で、花ごと落下する。	
チュウゴクボダイジュ	シナノキ	シナノキ	八千代湖(土師ダム)にあるチュウゴクボダイジュは中国地方で昭和47年に発見された新種で、県の天然記念物に指定。6月頃、集散花序をだし、淡黄色の花を咲かせる。	
テングシデ	カバノキ	クマシデ	突然変異によるイヌシデの変種。北広島町のみで群生する世界的にも大変珍しい木。平成12年9月に国の天然記念物に指定。曲がった幹は天狗の仕業だと言われている。	
十月桜	バラ	サクラ	10月頃から開花をはじめ、冬を通して少しずつ咲き、春に多数開花。花は淡紅色または紅色の八重咲き。冬咲きの花は小形で、春先の花は大形。エドヒガンとマメザクラの雑種と推定される。	
冬桜	バラ	サクラ	葉が小形であるので小葉桜(コバザクラ)とも呼ばれる。冬の花はやや小さめで、花色は白色または淡白紅色。群馬県藤岡市の桜山公園に多数植栽され、三波川の冬桜として有名です。(天然記念物)	
広島江波山桜	バラ	サクラ	平成6年4月に江波山公園で花びらの数や咲き方が通常ヤマザクラと異なる咲き方をしているのが確認され命名。花卉の数は5～13枚で水平に開花、花柄はヤマザクラの倍の長さがある。	
被爆桜	バラ	サクラ	広島に投下された原子爆弾により被爆したにもかかわらず、芽吹いたソメイヨシノが接ぎ木されたものです。広島市の事業で、平和のシンボルとして各地に苗木が配布されています。	
被爆アオギリ	アオイ	フヨウ	中国原産。夏～秋の間長期間開花する。多くの園芸品種があり、花色は紅紫色や白色等が、花の形も様々。花は8～9月に本年枝の葉脈に花をつける。韓国の国花。	
ドイツトウヒ	マツ	トウヒ	ヨーロッパ原産で明治中期に渡来。老木になると枝が垂れ下がる。球果は大きく、鳩時計の鎖の錘はこの球果をかたどったもの。2002年(平成14年)に県緑化推進運動50周年を記念し佐藤虎三郎氏を偲んで植樹。	
カエデと溪流			センター池から流れ出た溪流に沿って、様々なカエデが植えられている。秋には、様々な彩りに紅葉する様子が見られる。	
イロハカエデの並木			入口付近に植えられているイロハカエデの並木で、新緑や紅葉の季節は見ごたえがある。緑化センターの紅葉名所の一つにあげられる。	
学習展示館			森林の仕組みや環境の説明をパネルで説明している。森林の生き物の剥製も展示している。特にツキノワグマの剥製は子供に人気がある。	
芝生広場			多目的広場に隣接した斜面の芝生。ダンボールやそりで斜面を遊ぶ子供たちや、レジャーシートを敷いて昼食をとる家族も多く見られる。積雪時には、そりで遊ぶことができる。	
多目的広場			芝生広場に隣接している広場で、砂山や飛び石丸太、木登りなどで遊ぶことができる。緑に囲まれた広場であり、お弁当を食べたり、子供と遊んだり家族の憩いの場となっている。	
ファミリー広場			ミニアスレ・木製遊具と隣接した、山に囲まれた小さな広場である。トイレや藤棚などもあり、小さなお子さんと安全に遊ぶことが出来る。奥の散策路を下りていくと、中央展望台へと繋がっている。	
集いの広場			グラウンドゴルフをすることができる広場。緑に囲まれて、気持ちよくプレーすることが出来る。中央展望台から下りる道があるが、プレー者は車で行くことが出来る。(事前の予約が必要)	
ミニアスレチック			散策路沿いにアスレチック遊具が設置してあるが、設置後、年月が経過し腐食が進行し撤去したものもあり、数は少なくなっている。	
木製遊具			木と水のふれあい広場に設置してある木製遊具でネット渡りやドーム抜け、鐘の鳴る丘などの木製遊具がある。溪流も隣接しており、夏には様々な生き物を観察することができる。	
溪流路広場			麻下川を利用した溪流路広場。夏にはテントやシートを張り、遊んでいる家族の姿が多く見られる。水深も浅く、小さな子供でも安心して水遊びができる。夏の隠れたスポットと言える。	
紅葉樹見本園			様々な紅葉樹が植えられており、秋はビュースポットの一つである。多くのカメラマンが紅葉を写しに集まっている。特にモミジの葉の形に植えられたドウダンツツジの紅葉は見事である。	
針葉樹見本園			約35種類の針葉樹を近くで見ることができる。似た種類を見比べてみると、その違いがよく分かるかもしれない。詳細は針葉樹マップを参照。	
樹木探勝園			通路に沿って、60種類の樹木が植えられており、樹木名を当てるクイズ形式になっている。初級コースが30問、中級コースが30問あり、何問答えられるかな。専用の解答用紙を利用しましょう。	
中央展望台			園内を見渡すことが出来る。サクラが咲く春や紅葉の秋は、園内が様々な色に彩られ、一見の価値はあある。ファミリー広場から散策路を歩いて5分程度で行くことが出来る。集いの広場のそばになる。	
立石山展望台			福田と瀬野川をつなぐ林道沿いにある。南北ともに多くの山々を見渡すことが出来、空気が澄んでいるときは、芸北の山まで見ることができる。	
大岩展望台			三本木山の登山道にある展望台で、緑化センターや森林公園を眺められる。福田や可部の街並みも見られ、眺望はよい。	
三本木山			標高486.3m。第5駐車場そばの東屋横から登山道があり、約30分で頂上に着く。途中、大岩展望台、鉄塔など眺望の良い場所がある。そのまま下ると福田8丁目に下りる。	
藤ヶ丸山			標高665.4m。第5駐車場から林道を横切り登山道に入る。そこから約40分で頂上に着く。立石山展望台からも登山道がある。藤ヶ丸山からは、森林公園や呉婆々宇山(682.2m)～水分峠に行ける。	
立石山			標高500.4m。樹木探勝園から登山道があり約30分で頂上に着く。眺望はほとんどないが、ミノコージ峠千畳岩(555m)～長者山(571m)に行ける。瀬野の街やみどり坂団地が見渡せる。	
センター池			アヒル・カモ・鯉・カメがいて、間近で見ることができる。人に慣れているので、池に近づくとエサがもらえると思いい、近寄ってくる。カワセミやカイツブリなども見かけることができる。レストハウスで鯉のエサを100円で販売しています。	
雲海			秋～冬にかけて、朝冷え込んだ時などに麻下川の上に霧が出て、雲海が広がる。管理事務所や苗畑からは、雲海に包まれた景観を堪能できる。気温の上昇とともに、雲海は消えるので朝しかみることができない。	